



いちはま自然観察会

のらえもん

『 人も 自然も みんな友だち 』

2025 年度

No. 1 1

2025. 12. 7

第 1 1 回活動 サケの紙芝居と野鳥観察と生き物調べ

背中に陽を受けると、ポカポカと暖かく、
見上げれば雲一つない空。
ゆうきくんにりんちゃん、そしてたくみくんが
元気な姿を見せてくれた。
今日は、魚釣りや飛行機などいろいろ活動があり
公園をひとりじめして
みんなで、大いに楽しんだのだった。

1, 日 時：2025年12月7日（日）14：00～16：00

2, 天 気：晴れ 気持ちの良い冬日和

3, 場 所：都市農業公園

4, 参加者：総数 8 内訳 大人 3
小学 2
幼児 1
スタッフ 2

5, 活動の様子

この活動は、いつも少ない。子どもが一人のときが続いている。
その原因是、サケの受精卵が手に入らなくなつたからだ。
それまでは、保育園や会員に受精卵を配布し、それを受け取つてその成長を観察する
ことが楽しみだった。「卵から、頭が飛び出した！」「グミ（腹の卵黄）が重たそう！」
と、子どもたちはしっかりと観察してくれていた。大きくなつてからの放流も、「元
気で、戻ってきてね！」と声かけするのだった。

2023年から、サケの受精卵がまったく手に入らなくなつてきた。
漁業協同組合に電話をすると、「サケが、戻つて来ない」「海水温が、真冬でも25℃
もあるんだもの」という返事ばかりであった。

サケは、海水温が20℃以下を好む魚だ。地球温暖化の影響で海水温が上昇し、ど
の川にも鮭の姿は激減してしまつたのだ。

今日の活動流れ

①サケのお話

②魚釣り

サケのお話のパウチを海に見立てて、段ボールや空箱を使った魚を泳がし、磁石のついた釣り竿で釣ろうという遊び。

魚の体に子ども用のお菓子がくくりつけられている！

③野鳥観察

新芝川を捜す。対岸の浅瀬にカモ類がいる。

オオバン・コガモ・キンクロハジロなどを確認した。階段の手すりに止まっているのはアオサギだ。葉を落とした木で鳴いていたのは、カラスだった。

川の上を10羽ほどの野鳥が飛んでいく。川の中にはボラの大群が。

④生き物探し

荒川の方へ歩きながら、生き物を探す。ゆうきくんは虫かごと網をもって、虫を探す。その眼力は、すごいのだ。キャンプの時は、次々と見つけた。でも、今日は、さすがに見つからない。ヤマトシジミとベニシジミだけに終わり、ゆうきくんは不満顔。

⑤野菜観察

青々とした野菜の姿より、土の広がりの方が目立った。葉ものが少ないせいか？玉ねぎ・ニンニクはこの冬を乗り越えて、新しい年の6月頃には大きな実を収穫できるだことでしょう。

⑥プロペラゴム飛行機

公園のベンチに座って、お父さんお母さんと飛行機づくり。

説明書を読みながら組み立てている親子の上には、紅葉した木々と青い空。

「早く、とばしたい！」「まだ、ちょっと待って！」「まだー！」と、親子のやりとりが伝わって来る。

「できたー！」「とばしたーい！」

プロペラを回し、輪ゴムにエンジンをかけていく。二重三重のコブができていく。

「とばすよー！」

「わーっ、とんだー！」

「すごいネー！」

「いいネー、カッコいい！」

あっちでは、木の枝にひつかかった飛行機をとろうと、ペットボトルを何度も何度も投げつけている。

久しぶりの飛行機。

みんなで飛ばして、いい気分になりました。

⑦しゃぼん玉飛ばそう

興奮した後は、しゃぼん玉を飛ばしながらリラックス。大小様々なしゃぼん玉が七色に輝きながら、次々と飛んで行く。

⑧ふり返りの感想

〆は、学校で学んだ知識をもとに、今日の活動を文章化・言語化をしてみる時間だ。

指折り数えてつくる俳句は、だんだんのらえもんらしくなってきた。

「さようなら」
「またねー」
「次は、しめ縄ともちつきだよー」
手を振って、みんなと別れる時が愛おしい。
親子での活動にこだわってきたのらえもん。やっぱり、いいなー！
子どもたちは、やっぱりお父さんお母さんなんだよね！お父さんお母さんと一緒にいる時、安心だし気持ちいいんだよね。お父さんお母さんに声をかけてもらいたいし、褒めてもらいたいんだよね。
参加者は少なかったけど、すばらしい一時でした。

6. ふり返りの感想

- サケの話しからバードウォッチング、そしてゴムプロペラ飛行機など、大充実の2時間でした。
準備がとても大変だったと思います。
ありがとうございました。
ユーチューブやゲームでない遊び、とても子どもの育ちにつながっていると感じました。
しゃぼん玉 にじいろの色が 美しいだね

栗島幼稚園年中
母

- 虫と魚がいて、おもしろかった。
ひこうきが よくとんだ たのしい

栗島小2年

- サケの話を聞いて、温暖化のことを考えるキッカケになりました。
子どものころ、サケのふかを体験したことがありました、今はそんな体験もよりにくくなっているんだなと思いました。
自然体験を、今日もありがとうございました。
しゃぼん玉 もみじにむかって 空へ舞う

父

- サケがよくわかった。
ひこうきが ゆうぐれによく とんだあき

皿沼小5年

- 天気がよく、久しぶりに都市農業公園の中を歩きました。
(大潮の) 時間帯なのか、釣りをする人もチラホラ。
何がつれますか?ときいたら、夏にのらえもんで釣ったセイゴ・ハゼでした。
あまり季節とか関係ないのか不思議でした。
カサカサと 赤黄色の 秋の路

スタッフ

- 待ちわびて日影の長さを測りおりゆうきくんりんちゃんを想いいいつつ
○ 魚つりプロペラ飛行機うけましたボラの大群飛び入り参入 古高 利男